

川崎市視覚障害者情報文化センター 平成30年度事業計画

概要

今年度も川崎市内の視覚障害者のために積極的な情報提供と利用者の QOL(生活の質)の向上のため、事業を進めて行く。

- ・ 視覚障害用図書については、川崎の読者の趣向を反映するように努める。
- ・ 「映像のまち・かわさき」らしく、視覚に障害のある方々にも映画を楽しんでいただけるようにシネマ・デイジーの製作に積極的に取り組んでいく。
- ・ 訓練については、ここ数年、長期的な訓練よりも短期的訓練のニーズが強い。そのニーズに合わせたスポット的な要望に応えていく。
- ・ 文化的事業にも力を入れていく。ヨガの体験教室の人気の高いので、今年度は、2月、8月を除いた毎月開催する。毎回多数の来場者のある音声ガイド付き映画体験会(毎月開催)、「れきおんクラブ」(偶数月開催)、春と冬のコンサートも、例年通り開催していく。地域の子供たちに視覚障害について知ってもらうため、「こども文化センター」と連携をとって、イベントを企画していく。また、センターまつりなどのイベントは、オブリガード(川崎市視覚障害者ボランティア連絡会)、川崎市視覚障害者福祉協会と積極的に連携し、運営を行う。
- ・ 遠方のためセンターまで足を運ぶことが難しい川崎市北部地域の利用者に、センターの事業を知ってもらうために、麻生区、多摩区、宮前区の福祉まつりに参加する。

計画

(1) 閲覧・貸出

約750人(個人・団体)の利用登録者に対し、点字図書は年間250タイトル、録音図書は年間11,000タイトルの提供を目指す。また、点字雑誌は年間250タイトル、録音雑誌は年間4,500タイトル提供する。ダウンロードサービス件数およびシネマ・デイジーも含めて総貸出数は約18,000件を提供する。また、日本点字図書館が「DVD映画音声解説CD」の貸出し業務を中止するため、川崎市視覚障害者情報文化センターがこれを引き継ぎ、希望する利用者・団体に貸し出す。

(2) 資料製作

利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた図書選定を行い、点字図書は年間40タイトル、録音図書は年間100タイトルの製作をする。また、テキストデイジー図書10タイトルの製作を行う。

「映像のまち・かわさき」の事業として、視覚に障害のある方々に映画を楽しんでいただく音声ガイドとシネマ・デイジーを20タイトル製作する。

(3) 点訳者・音訳者・音声ガイド製作者等の養成

本年は音訳者養成講座を実施する。活動中の点訳者・校正者を対象としたスキルアップ研修会を開催する。

映画の音声ガイド製作ボランティアのスキルアップのために、製作過程において必要な指導を行う。

(4) 訓練事業の取り組み

平成 29 年度からの訓練継続者を含め、45 名に歩行、生活、コミュニケーションなどの各種訓練を行う。それ以外に、訪問指導や来所指導といった短期間での訓練指導を延べ 250 回実施する。

視覚障害者のための日常生活用具と便利グッズの主なもの、最新のものなどを展示し、斡旋販売を行う。訓練と連携を密にし、訓練生にこれらの用具を紹介し、使用してもらうことで QOL の向上を図っていく。また、補装具・日常生活用具の制度や申請の方法を積極的に周知していく。合わせて図書館利用に繋げていくことを行なう。

(5) ボランティアとの協力、連携強化

ボランティアとの連携を密にして、図書製作・各種イベント等で協働していく。

(6) 啓発普及について

- ① 事業報告会を開催し、図書館事業・視覚障害者訓練事業を各区の高齢・障害担当に広める。
- ② 市内眼科医との連携を図り、中途視覚障害者に対する情報提供を図る。
- ③ 遠方のためセンターまで足を運ぶことが難しい川崎市北部地域の利用者のために、事業体験会を北部の各区で開催する。
- ④ 最新の情報をいち早くメールマガジンで伝えるとともに「アイ eye センターだより」を発行し広報活動に積極的に取り組んでいく。
- ⑤ 小中学校から依頼のある視覚障害の啓蒙に関する講座には、可能な限り講師を派遣する。
- ⑥ 隣接するこども文化センターと連携し、視覚障害の啓発を児童に対して行なう。

(7) 文化的活動について

音声ガイド付き映画体験会、読書会、ヨガ体験、コンサートなどイベントを開催する。

(8) 防災・減災対策の推進

発災時にセンター内にいる利用者、支援者、職員の安全、安心を確保するため、定期的に防災訓練を行う。また、川崎区近隣の避難場所や給水地点の確認、川崎区の災害情報などを入手できるよう、平時から災害に備える。

参 考

平成 30 年度(計画)

(1) 閲覧・貸出

① 利用登録者数	470 名
(新規登録者数)	30 名
(点字使用者数)	120 名
② 利用登録団体	280 施設
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供	
蔵書数 (タイトル)	2,800 タイトル
(冊数)	10,500 冊
蔵書数の変化 (新収書)	150 タイトル 500 冊

貸出数	点字図書	250 タイトル
		610 冊
	(内 他館借受)	(20 タイトル)
		(80 冊)
	(点字雑誌)	250 タイトル
④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)		5,100 タイトル
	(枚数)	5,100 枚
蔵書数の変化 (新収書)		200 タイトル
		200 枚
貸出数		
(ア) カセットテープ		30 タイトル
		90 巻
(イ) CD図書		11,000 タイトル
	(内 他館借受)	(9,000 タイトル)
(ウ) カセットテープ雑誌		70 タイトル
(エ) CD雑誌		4,500 タイトル
(オ) シネマデイジー・音声ガイド		300 タイトル
デイジー図書コンテンツダウンロード提供		
(カ) SDカード		1,400 タイトル
(キ) CFカード		240 タイトル
(ク) CD		10 タイトル
⑤レファレンスサービス情報提供件数		80 件
(2) 資料製作		
①点字図書の製作数		
(ア) 委託製作数		20 タイトル
		90 冊
(イ) 委託外製作数		20 タイトル
		90 冊
(ウ) プライベートサービス		35 タイトル
②録音図書の製作数		
(ア) 委託製作数	朗読	50 タイトル
	デイジー編集	100 タイトル
(イ) 委託外製作数		50 タイトル
(ウ) プライベートサービス		10 タイトル
③テキストデイジー図書の製作数		10 タイトル
④シネマ・デイジー・音声ガイドの製作数		
(ア) 委託製作数		12 タイトル
(イ) 委託外製作数		8 タイトル
(3) ボランティア等の養成		
① 点訳ボランティアスキルアップ研修会		

	開催回数	2回
② 音訳ボランティア養成講座	開催回数	18回
(4) 訓練事業の取り組み		
① 訓練者数	訓練者実数	45名
	(新規訓練者数)	20名
	内訳 (複数提供あり)	
	生活訓練	3名・・・20回
	歩行訓練	25名・・・300回
	パソコン訓練	12名・・・120回
	点字訓練	5名・・・140回
② 相談者数		50名・・・250回
③ 用具の展示と販売紹介	展示点数	400点
	販売紹介点数	1,400点
(5) 啓発普及		
① 事業報告会の開催		
	7月	訓練事業説明会
② 福祉まつり(センター事業出張説明会)等の開催		
	6月	多摩区福祉まつり
	10月	麻生区福祉まつり
	11月	宮前区福祉まつり
③ 訓練生交流会(ぶらぶら会)		
	開催数	8回
④ イベントの開催		
・ 音声ガイド付き体験上映会	毎月開催	12回
・ 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」	偶数月開催	6回
・ チャレンジド・ヨガ教室	2月、8月を除き毎月開催	10回
・ 春のコンサート		5月
・ 読書会		6月、12月
・ 訓練生屋外交流会		10月
・ 冬のコンサート		12月
・ アイ eye センターまつり		2月